

「都会は地方の自然に支えられている」だからこそ、今！

長野県

森林CO<sub>2</sub>吸収量認証書

オフセット分

必要削減量

CO<sub>2</sub>

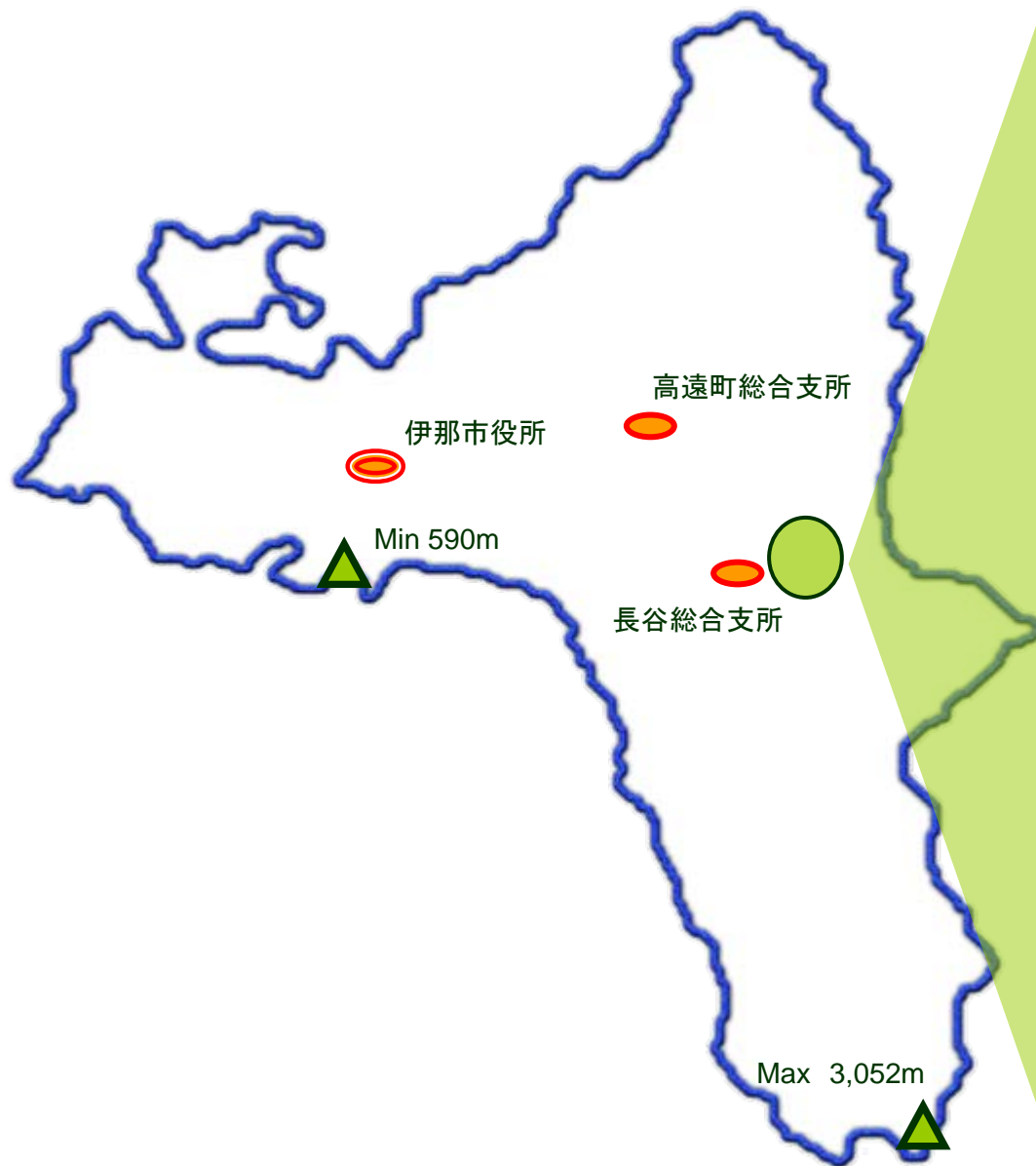
事業主体として森林整備

地球環境保全協定  
施業実施協定

伊那市  
INA CITY

新宿区  
SHINJUKU

友好提携都市

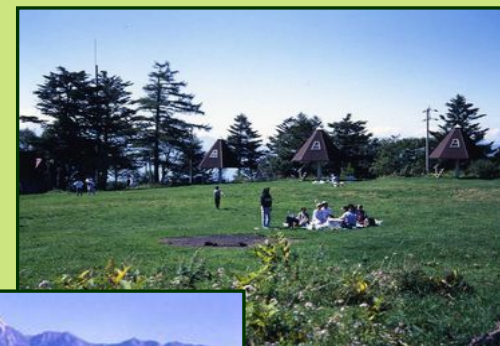


## ＝鹿嶺高原＝

標高1800メートルにあり、目前に南アルプス仙丈ヶ岳、東駒ヶ岳、鋸岳が迫り、中央アルプスや遠く北アルプス連峰までが一望できる。夏でも気温は18度～20度で涼しいうえに空気がほどよく乾いているためキャンプサイトとして絶好のフィールド。信州サンセットポイント100選に選ばれた夕焼けや、真下に見下ろす夜景、満天の星空なども楽しめる。

### [アクセス]

・中央自動車道伊那I.Cから32キロ、諏訪I.Cから42キロ  
 長谷総合支所から鹿嶺高原までは(12キロ・30分)  
 ※公共交通機関はありません。



## ○林地の状況

東向きの森林であり、道沿いは多少施業がされているが、林内は未整備の所が多い。

## ○整備対象面積

242.37ha(うち、施業面積 約150ha)

## ○主な樹種

赤松も見られるが、基本的にカラマツ中心。

## ○森林整備方法

伊那市と市有林の施業実施協定を締結し、間伐を行なう。

## ○間伐方法

3割を間伐し、その8割を搬出する。

主に列状間伐

(但し、森林及び林地の状況に合わせ施業を行う。)

## ○その他

- ・搬出間伐を基本とするため、作業道の整備を予定
- ・この森林整備に伴う事業主体は新宿区とする。

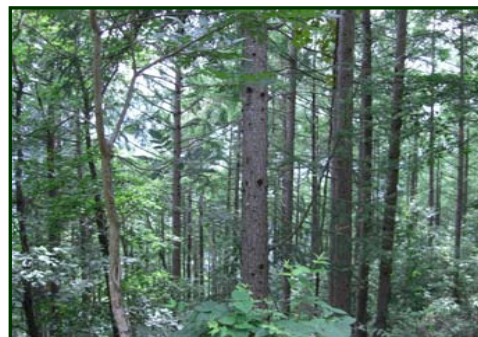
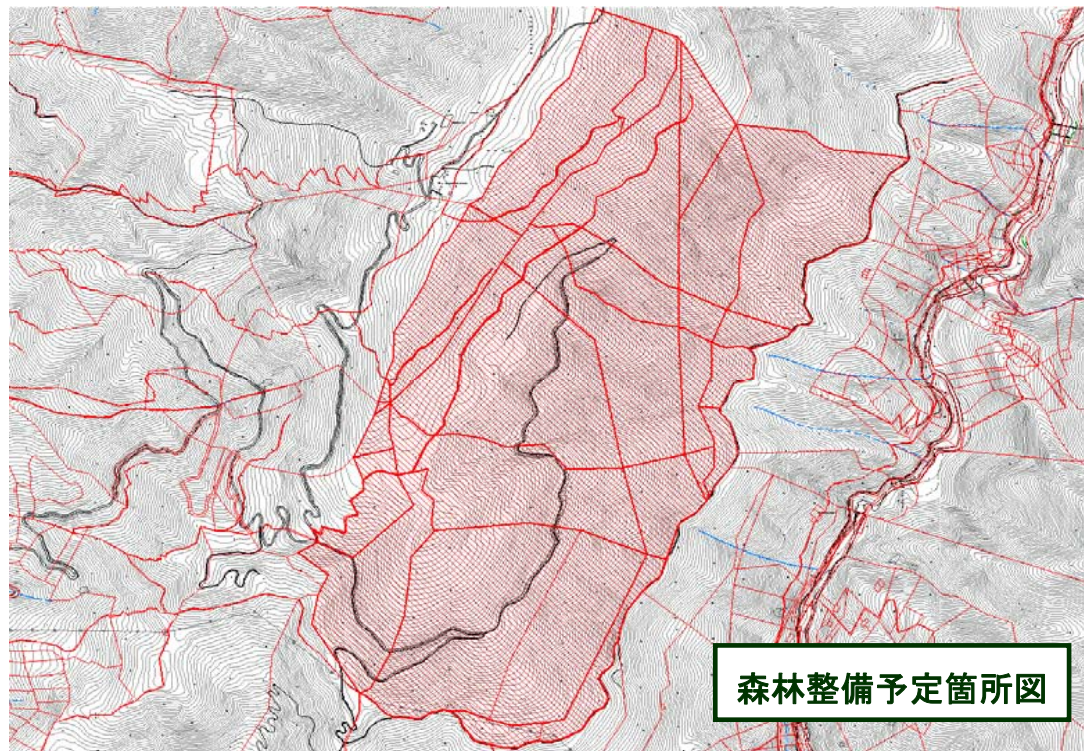


当該森林樹種

緑:カラマツ

オレンジ:赤松

ピンク:その他広



= 森林の状況 =

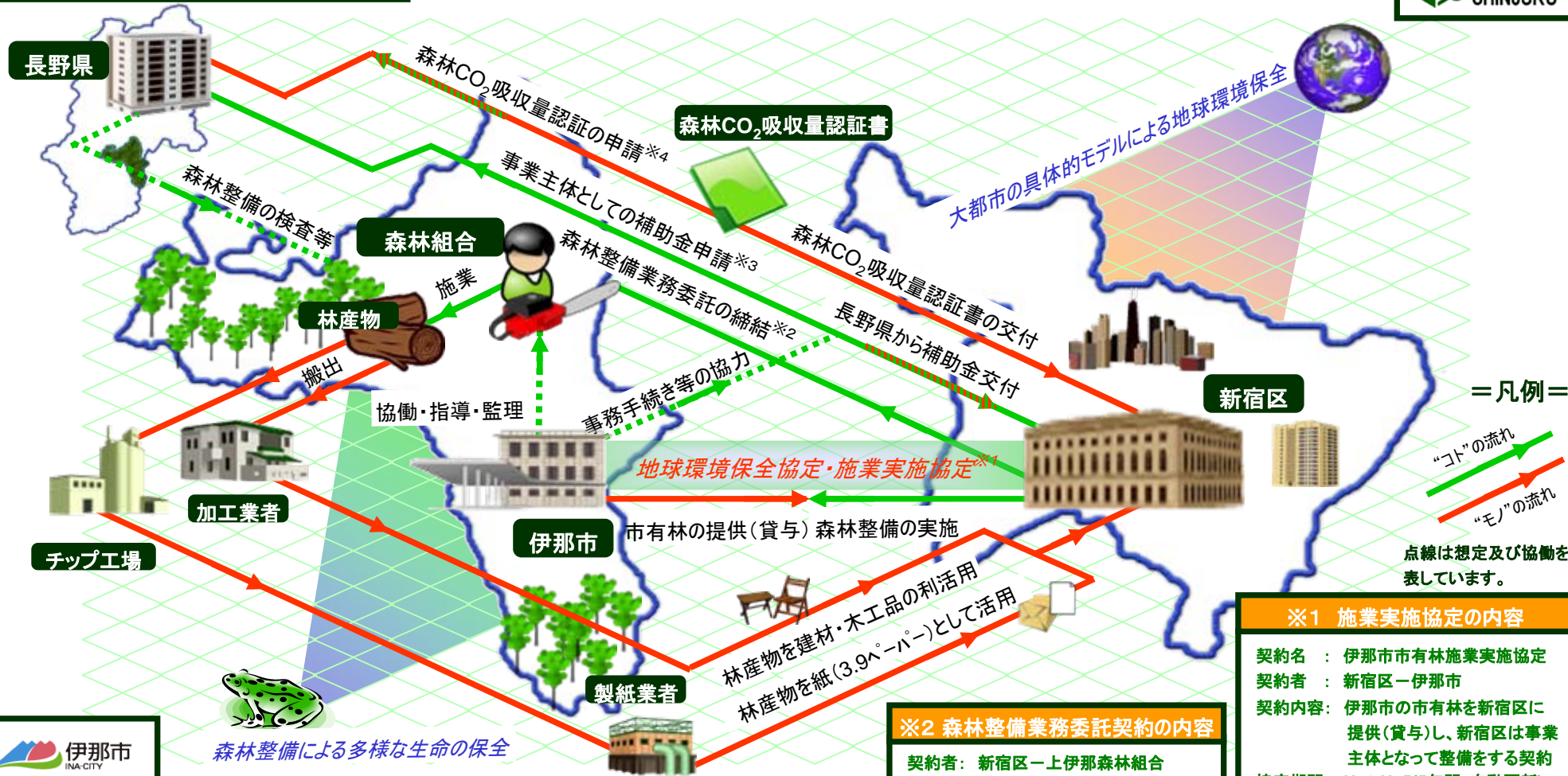
## 持続可能な社会と地球環境保全の実現

### ※4 長野県「森林CO<sub>2</sub>吸収量認証」について

森林CO<sub>2</sub>吸収量認証を受けるには、長野県の「森林の里親促進事業」に参画することが条件。その後間伐などを実施し、認証の申請・検査・認証書の交付となります。

### ※3 森林整備補助金の申請

森林整備の事業主体：新宿区  
補助事業名：長野県流域育成林整備事業



＝凡例＝

“コト”の流れ  
“モノ”の流れ

点線は想定及び協働を表しています。

### ※1 施業実施協定の内容

契約名：伊那市市有林施業実施協定  
 契約者：新宿区－伊那市  
 契約内容：伊那市の市有林を新宿区に提供(貸与)し、新宿区は事業主体となって整備をする契約  
 協定期間：H21-H25(5年間;自動更新)  
 施業面積：約30ha/年(5年間計 150ha)  
 間伐材の所有権：新宿区

### ※2 森林整備業務委託契約の内容

契約者：新宿区－伊那森林組合  
 間伐率：3割間伐・搬出率：8割搬出  
 間伐材の用途：建材・紙(3.9ペーパー)  
 (加工者は別) 木工品・燃料(ペレットなど)



森林整備による多様な生命の保全

## 生物多様性社会の実現

	20年度	21年度				22年度(以降毎年度同様)			
	月 1	4	7	10	1	4	7	10	1
市有林間伐		伊那市市有林施業実施協定締結 ↔ 21年度施業箇所選定協議 ↔	間伐業者選定・委託契約 ↔	間伐実施、検査 ↔		22年度施業箇所選定協議 ↔	間伐業者選定・委託契約 ↔	間伐実施、検査 ↔	
長野県によるCO <sub>2</sub> 吸収量認証			長野県認証申請 ↔	CO <sub>2</sub> 吸収量認証 ↔	カーボン・オフセット ◆		長野県認証申請 ↔	CO <sub>2</sub> 吸収量認証 ↔	カーボン・オフセット ◆
省エネモニターによる効果検証	←		モニター募集	検証 ◆				検証 ◆	→
カーボン・オフセット事業による効果		結果公表 ◆		結果公表 ◆				結果公表 ◆	
環境学習			環境学習事業実施 (区立小中学校・事業者・区民) ↔			環境学習事業実施 (区立小中学校・事業者・区民) ↔			
区での間伐材の利用促進	←	新宿区区内連絡会(間伐材有効活用検討)							→
			間伐材利用 ↔						

区民の省エネルギーへの  
取組み

事業者の省エネルギーへの  
取組み

区が率先して取り組む  
地球温暖化対策

ストップ温暖化 新宿大作戦！！

カーボンオフセットの取組み



ご清聴ありがとうございました。